

大学院大学就職志望博士前期院生への教育支援

(平成 20 年 7 月 28 日)

弊財団では科学分野の研究者の育成を目的に大学院生対象の奨学金制度を実施していますが、現在の日本では大学または大学院での優秀な研究後継者だけではなく、産業界での優秀な研究者・技術者が求められていますので、博士前期課程修了後に社会に出ようとする大学院生への教育を支援しています。

文部科学省の推進する大学院大学の教育プログラムに積極的に取り組んでいる奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科から「企業体験プログラム」の協力要請があり、博士前期課程学生 6 名の一泊研修を受入れました。目的は「大学院生が学んだ基礎知識とこれから学ぶ専門知識や研究実験を実社会で最大限に活用し実践できるよう有機的に連携させる能力を養う」ということでありましたので、企業活動の面からはサントリー株式会社 R & D 推進部の協力を得て行いました。



消費者製品を創る研究・開発のキーポイント、①技術（発想を可能にする研究力）、②感性（消費者の求める良き方向の察知と創造）、③執念（仕上げる粘り強さ）などの講話から始まり、当財団からは、①将来の消費者の健康についての基礎研究とその考え方、サントリー（株）植物研究所からは、②新しい事業を始めるための基礎研究から多彩な商品開発について、そしてサントリー（株）ビール商品開発部から③「ザ・プレミアム・モルツ」を題材に、伝統的食品であるビールに対する消費者の嗜好と科学力による商品の実現について、それぞれ研究開発課題の説明を行いました。

その後、お客様に安心できる製品をお届けする生産の場である京都ビール工場を見学して「ザ・プレミアム・モルツ」を試飲し、工場長のコメント、「生産の場でも、研究の判る良き人材が求められている」が、研究の場だけではなく、開発、生産への仕事の見方のまとめとなりました。

これから世に出る準備中の博士前期課程 1 年生諸君の良き指標となればと願うところです。



工場長の話聞き入る皆さん
京都ビール工場にて